

分類番号

678.3

テーマ別調べ方ガイド



国際貿易法—WTO 協定 について調べる



★ 関連キーワード

- 国際経済法
- 貿易
- 世界貿易機関(WTO)

「Paste (はすて)」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ラーニング・サポーター (LS) による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

1. イントロダクション

現代は「グローバル化の時代」といわれるように、世界中のモノや人が国境を越えて活動し、世界規模での経済的な結びつきが深まっています。私たちの生活は、世界各国の技術力や労働力に支えられているといっても過言ではありません。国際的な経済活動を潤滑にするには国際的な取り決めが必要であり、その1つが、世界貿易機関(WTO: World Trade Organization)が定める WTO 協定です。現在、日本を含む 160 カ国以上の国々が、WTO 協定のルールに則り国際的な経済活動を行っています。

しかし近年、2017 年 1 月に発足したトランプ政権による米国の TPP 離脱や米国第一主義的な通商政策など、保護主義の広がりや懸念する声も見られます。世界各国の通商政策は、一般消費者である私たちの生活にも影響を与えます。また、企業のグローバル化も著しい今、将来グローバルに働くことを見据え、国際貿易法を勉強してみませんか？

1-1. 「国際貿易法」とは？

国際的な経済活動に係るルール(国際経済法)には、国際貿易法、国際投資法、競争法など様々な規則が存在します。国際貿易法にも、ウィーン売買条約やインコタームズなどの様々な条約や規則が存在しますが、今回はそのうちの WTO 協定(世界貿易機関を設立するマラケシュ協定(通称:WTO 設立協定)及びその附属書)を扱います。WTO 協定は、日本を含む WTO 加盟国 164 カ国*の間で貿易自由化を推進するための規則を定めており、現代の国際社会における貿易に関する中核的なルールです。加盟各国は、この協定に沿って、関税や輸入許可手続きなどの通商政策を定め、国際貿易を行っています。また、WTO は、加盟国間での貿易紛争を解決するための紛争処理を行ったり、南北問題や環境保護、労働基準の向上や人権保障などの社会問題に配慮した協定改正議定書の締結、他の国際組織との連携などを行っています。

*WTO “Members and Observers” https://www.wto.org/english/thewto_e/whatis_e/tif_e/org6_e.htm (2018 年 2 月 7 日現在)

1-2. 学習するにあたってのポイント

学習するにあたっては、まず WTO 協定の構成—どこに何が書いてあるか—を知る必要があります。同協定は、前文、協定本体、末文、脚注及び 4 つの附属書から構成されています。本体には基本的な組織や手続きに関する条文が収録されていますが、学習のメインとなるのは具体的な貿易ルールを規定している附属書 1 と 2 です。附属書 1 では、モノの貿易、農業貿易、サービス貿易、狂牛病対策等で知られる衛生植物検疫措置、知的所有権、補助金や輸入許可手続きなど、様々な分野の貿易ルールが細かく定められています。附属書 2 には、WTO 加盟国間で貿易措置を巡る紛争が生じた場合に解決を図るためのルールが規定されています。

例えば最近、日本の鉄鋼製品が不当に安い価格で米国に輸入されているとして、米国がアンチ・ダンピング(不当廉売)関税を課したことがニュースになりました(日本経済新聞 2017 年 5 月 6 日付朝刊)。WTO 協定上、これに関連するのは附属書 1 の「アンチ・ダンピング協定」です。また、2015 年以降、日本は、韓国による日本産水産物の輸入規制が「衛生植物検疫措置の適用に関する協定(SPS 協定)」に反

するとして、WTO 協定に基づき韓国と協議を行っています。このように、ニュースで知り興味を持った分野のルールや、実際に貿易紛争となった事例をもとに関連のルールを学んでみてはいかがでしょうか。

1-3. 一般向けに書かれた資料・読み物

■ WTO：貿易自由化を超えて / 中川淳司著

第二次大戦後に誕生した GATT(ガット。WTO の前身)の時代から、現在の WTO による自由貿易体制が確立されるまでの歴史を見通し、課題と展望をわかりやすく提示している。さらに、TPP や FTA といった、より新しい貿易の枠組みとの違いについても解説している。

【書誌 ID=2004276888】総合図-A 棟 3 階 文庫・新書 089/IS/R1416

2. 学習用資料

2-1. 手元にあると便利な事典・ハンドブック 類

■ 基本経済条約集 / 小寺彰, 中川淳司編 (第 2 版)

専門課程における「国際経済法」の学習者をはじめ、諸官庁、企業法務部門に必要不可欠の条約をコンパクトに体系化した国際経済条約集。WTO 協定のほか、第 2 版には、日中韓投資保護協定、日・マレーシア自由貿易協定等が新たに収録された。

【書誌 ID=2004338825】総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 678.3/KOT

■ 国際経済条約・法令集 / 小原喜雄, 小室程夫, 山手治之編著 (第 2 版)

国際経済法の体系的な理解を目的とした一冊。多岐にわたる国際経済法を、通商、通貨・金融・投資、競争制限の規制、知的所有権、国際課税、経済統合・経済協力の 6 つの分野に分類して解説。主要な条約と日本国内の法令が網羅されている。

【書誌 ID=2003499009】総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 333.6/OHA

■ ケースブック WTO 法 / 松下満雄, 清水章雄, 中川淳司編

WTO の紛争解決事例を項目別に分類し、体系的に分析したハンドブック。巻末には、採択日順のケース索引と事項・協定索引があり、目的の事例を探しやすい。

【書誌 ID=2004116804】総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 678.3/MAT

2-2. 最初に読むべき資料：教科書・古典

■ 国際経済法 / 中川淳司 [ほか] 著 (第 2 版)

国際経済法について体系的にわかりやすく説明した教科書。WTO 協定について中心的に書かれている。加えて、WTO 体制成立に至るまでの国際経済史、国際投資法、国際競争法、国際通貨・金融制度、国際租税法、国際経済刑法まで、国際経済法について幅広く解説されている。

【書誌 ID=2004279801】総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 333.6/NAK

- WTO・FTA 法入門：グローバル経済のルールを学ぶ / 小林友彦 [ほか] 著
WTO だけでなく、FTA(自由貿易地域・協定)の役割もふまえ両者をバランスよく学べる。自由貿易の基本原則と例外を扱う総論から、分野毎の規律と紛争処理、さらに開発や知的財産などの現代的課題までを、図版も交えて概説している。

【書誌 ID=2004414638】総合図-B 棟 2 階 LS 選書 678.3/KOB

- WTO 入門 / UFJ 総合研究所新戦略部通商政策ユニット編
WTO の歴史、仕組み、意義などについて解説し、さまざまな交渉・紛争のケーススタディを通じて、WTO の果たす役割と交渉の実態を明らかにしている。

【書誌 ID= 2003596973】総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 678.3/UFJ

2-3. 最新情報が確認できる資料：主要雑誌・年鑑・Web ページ

- 日本国際経済法学会年報 / 日本国際経済法学会編
日本国際経済法学会が、1992 年以降毎年発行している雑誌。1992-1994 年(1-3 号)は『国際経済法』という誌名で刊行されていた。経済摩擦や市場統合など、日本を取り巻く通商にかかる法的諸問題を、総合的かつ多角的に検討することを目的としている。国際法・国内法・外国法のそれぞれの分野の研究を行っている学者、官庁、企業や法律事務所などの実務家の論文を掲載している。

【書誌 ID=3002100104】総合図、法資

- Journal of International Economic Law / Oxford University Press
Oxford University Press が年 4 回(1998 年～)発行している雑誌。国際的な経済活動に係る法的諸問題をテーマとした世界中の研究を入手することができる。使用言語は主に英語。

【ISSN=14643758】【書誌 ID=OJ00029444】電子ジャーナル

- 独立行政法人経済産業研究所(RIETI) (<http://www.rieti.go.jp/jp/>)
2001 年に設立された政策シンクタンクの Web サイト。WTO 紛争の判例評釈である「WTO パネル・上級委員会報告書解説」シリーズが掲載されている。シリーズ名でサイト内検索をすると見つかる。

- 世界貿易機関(WTO) (<https://www.wto.org/>)
世界貿易機関の Web サイト。WTO 諸協定の条文、紛争解決手続きにおけるパネル・上級委員会報告の原文が掲載されている。最新情報も常時更新されている。

- 外務省「世界貿易機関(WTO)」 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/page2_000003.html)
WTO の概要や協定の日本語訳、各交渉分野の用語解説が掲載されている。特に、閣僚会合や協議などの最新情報が充実している。

- 経済産業省 (<http://www.meti.go.jp/>)
「WTO」のページでは、WTO の概要、協定の日本語訳、主要交渉分野、紛争解決手続き、その他関連の談話・声明などの情報など幅広い情報が入手可能である。また、リンク集が充実しており、WTO

事務局へのリンクが紛争案件や加盟国一覧などのトピック別に掲載されているほか、関連省庁、その他関連機関へのリンクも紹介されている。

同省から毎年発行されている「不正貿易報告書」や「通商白書」は、WTO の動向や、日本と世界各国の通商政策の動向や各種データがわかりやすくまとめられており、便利である。

「WTO」: http://www.meti.go.jp/policy/trade_policy/wto/index.html

「不正貿易報告書」: http://www.meti.go.jp/policy/trade_policy/wto_compliance_report/index.html

「通商白書」: http://www.meti.go.jp/report/whitepaper/index_tuhaku.html

3. レポート・論文執筆用資料

3-1. 一次資料類：史料集・全集・統計集・ファクトデータ集

■ 世界貿易機関(WTO) 「Find disputes cases」

(https://www.wto.org/english/tratop_e/dispu_e/find_dispu_cases_e.htm)

紛争事例をキーワード検索することができる。また、WTO 協定の関連条文、加盟国、対象種目などを指定して一覧を表示させることも可能。興味のある事柄に関して、これまでどのような紛争事例があったのかを調べる際に便利。

■ 経済協力開発機構(OECD) (<http://www.oecd.org/trade/>)

OECD は、先進国間の自由な意見交換・情報交換を通じて、1)経済成長、2)貿易自由化、3)途上国支援に貢献することを目的とした国際機関である。OECD 加盟国の貿易政策の分析を行っており、データベース化されている。農業などの各分野の貿易政策の情報や、貿易と環境・人権などの非貿易価値との関係や問題に関する情報も提供している。

■ 国連貿易開発会議(UNCTAD) (<http://unctad.org/en/Pages/Home.aspx>)

国連総会の補助機関であり、常設の政府間機関である。貿易と開発、及び金融、投資、技術、持続可能な開発の関連問題に総合的に対応する機関として、中心的な役割を果たしている。Web サイトでは特に、貿易と途上国開発に関するプロジェクトやデータを入手することができる。

■ International Trade Center(ITC) (<http://www.intracen.org/>)

UNCTADとWTOの共同機関である。中小企業の輸出を成功させる開発パートナーとして、開発途上国や経済移行諸国が輸出を通して持続可能な開発を達成できるように支援することを活動の目的とする。全世界の貿易統計や市場情報などを提供するほか、貿易関連問題に関する出版物を発行している。

3-2. レポート・論文の書き方、学び方、引用・参考文献の書き方

■ 国際政治経済学入門 / 野林健・大芝亮・納家政嗣・山田敦・長尾悟

巻末の「補論：研究の手引き」に、論文の書き方や研究テーマの見つけ方などが書かれている。

【書誌 ID= 2004049229】総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 319/NOB

- 『国際法外交雑誌』の執筆要領 (http://www.jsil.jp/journal_page/index_jrnl.html)
法学形の論文に限らず、レポートや論文を書く際、脚注のつけ方などの参考になる。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

